

VOL. 2

令和4年3月～5月

体験取材活動記録

築上町地域おこし協力隊



豊築森林組合の 植栽体験

2022.3.8（1日間）

取材 内容

杉の苗木を植え、シカなどの害獣除けとなるシェルター設置作業を行いました。0.05ヘクタールの範囲に100本植え、何十年もかけて成長していく山のスタートを学びました。

Q. 感想を一言お願いします！

A. 自分たちの仕事に誇りを持って、さらに楽しんでいる姿が印象的でした。山仕事をしている、というよりは山と一緒に生活をしている、という感じで「山に携わる仕事」のイメージが変わりました。



しの

A. 人が木を使うために伐採しているのだから、その分きちんと責任をもって森に返さなければいけないと感じました。SDGsに絡めた取り組みや発信なども、森林組合のことを知ってもらふ糸口としてうまくアピールしていけたらいいのかなと思います。



おまたっち



協力隊が発見！

山と生きる
仕事の魅力

今から未来へ、山の姿と私たちの生活を守る職業

山仕事は「大変」という印象が強かったですが、実は四季折々の山の姿に寄り添っていく職業。ただ木を増やすのではなく、未来の山の姿を考えながら作っていく、魅力ある仕事です。

豊築森林組合の 丸太切り・薪割り体験

2022.4.6～4.7（計2日間）

取材 内容

専用の機械やチェーンソーを使った丸太切りと、斧を使用した薪割を行い、正しく道具を使う方法、薪の割り方を京築ブランド館で教えていただきました。

Q. 感想を一言お願いします！

A. チェーンソーはなんでも切れるイメージでしたが、細かいメンテナンスが常に必要で、かなり繊細な機械なのだなと思いました。現場の皆さんがチェーンを付け替える練習をしていたのも印象に残っています。



メグ

A. 薪割りがこんなに大変な作業だとは思っていませんでした。全身を使って斧を振ると、垂直に力が伝わることを教えていただいてからは少しマシに。木の性質や力の伝え方も勉強できました！



おまたっち

協力隊が発見！

経験豊富な
木こりの職人

先人の知恵が詰まったお仕事

丸太を切るための安全確認、薪を割るための斧の振り方、その1つ1つの動作を守ること、道具を使いこなせる。昔からの知識がとても活きています。



豊築森林組合の 加工・組み立て体験

2022.4.13～（体験中）

取材 内容

豊前市にある小径木加工場で、職人さんが木材を加工し商品にする作業を見学しました。また、協力隊員それぞれが作りたい製品を考えて、加工や組み立てに挑戦しています。

Q. 感想を一言お願いします！

A. オーダーメイドの木工製品を作るにあたって、狂いのない細やかで正確な技術が求められる職場だなと感じました。様々な加工方法があり、それに合う機械を使いこなす姿はまさに「職人」！



メグ

A. 自分自身のテーブルを作らせてもらいました！木材をつなぎ合わせる工程ひとつにも、何通りもやり方があります。初心者向けの方法で行いましたがそれでも難しく……職人さんの技術の高さを感じました。ただ、作ったテーブルを家に置いてみたら、作っている時以上に愛着がわきました！大切に使います。



しお

協力隊が発見！

加工職人の
思い

受け取る人を想像して、譲歩しない丁寧な仕事

加工場には老若男女さまざまな方がいます。共通するのは、仕事の丁寧さに妥協がないところ。職人がお客様に会うことはありません。けれど、誰よりも受け取り手を思って作業に向かっています。



伝法寺庄の 調理・接客体験

2022.4.15～4.16（2日間）

取 材 内 容

ランチタイムのための調理、配膳、お客様の対応や地域のことについてご案内するなど、作るところから片付けまで、伝法寺庄運営のお手伝いをしてきました。

Q. 感想を一言お願いします！

A. お客様によって食材の切り方や味付けを変えたり、化学調味料を使わないことを心がけている伝法寺庄の料理は、最近よく聞くヴィーガン、ベジタリアンなどの方にも好まれるんじゃないかなと感じました。



おまたっち

A. お客様はこちらが考えているよりも、伝法寺庄のいろいろな所を見ているし、お店の雰囲気もあってか料理や地域のことを聞きたがる方が大勢いて少し驚きました。こちらたくさん学んで話せるようにならなきゃ……と自然に気持ちがわいてきました。



メグ

協力隊が発見!

伝法寺庄の 魅力

築上町の歴史と食文化を伝えるランドマーク

伝法寺庄の良さはおいしい料理に留まらないところ。建物に刻まれた歴史や花の美しさなど、目に映るものすべてが伝法寺庄流のおもてなし。身も心も満腹になったお客様の笑顔が印象的でした。



豊築森林組合の 竹林整備

2022.4.19～4.20（1日間）

取 材 内 容

豊築森林組合の西部支所のスタッフと一緒に、荒廃竹林の整備を行いました。切り落とした竹が土に還るよう、チッパーと呼ばれる粉砕機を使って細かく砕きました。

Q. 感想を一言お願いします！

A. 竹林というと京都の観光名所のようなイメージがあったので、整備をしないとどんどん広がってしまうと聞き驚きました。



しの

A. 「身近だけど知らないこと」だと強く感じました。学生など若い世代の人にもっと知ってもらえるようアピールしていけたら良いと思いますし、竹の性質や問題点など私たちも教えていただいて面白かったです。



メグ

協力隊が発見!

森林組合の 知られざる 仕事

竹林を整えることは、森を守ることに繋がっていく

竹は驚くほど成長が早く、根が横に伸びていきます。面倒を見なければ、竹林から飛び出して横の森林にまで侵入します。森を守ることは直接手入れをすることに限られないのだと学びました。



たけのこ掘り

2022.4.20 (計 1 日)

取材内容

竹林の中でたけのこを探るところから、掘って採るところまでを教わりながら行いました。背が高いたけのこの方が、美味しく沢山食べられることも学びました。

Q. 感想を一言お願いします！

A. 初めてのたけのこ掘りだったので、鍬の振り方から教えてもらいました。たけのこの皮に産毛が生えて、フカフカになっていることに感動。茹で方から食べ方まで、生活に必要な知恵をまた一つ習得しました！



メグ

A. 中学生の時に採ったたけのこは、皮を剥くと食べるころがないほど小さくなってしまいました。でも築上町で採ったものはすべて持ちきれないほど大きく、ここまで育つんだ！と衝撃の連続でした。味も美味しかったです！



おまたっち

協力隊が発見！

たけのこ掘りの面白さ

食べること。それは、環境にやさしいこと

たけのこは成長スピードがとても早く、3 日で 1m にもなるそうです。そのため食べる行為自体が竹林や森林を守ることに直結します。



豊築森林組合の伐採見学

2022.4.21 (1 日間)

取材内容

森林を所有している方の代わりに、職人の方々が重機やチェーンソーを使いこなしながら木々を切り倒すのが伐採です。その迫力ある光景を見学させていただきました。

Q. 感想を一言お願いします！

A. 職人さんのご指導の下、10m ほどの木の伐採体験をしました。職人の皆さんは木をどのように切っていくのか作業しながら決める一瞬の判断力があり、経験を積み重ねることが本当に大切だと感じました。



おまたっち

A. 足場の悪い斜面で、チェーンソーを使いこなす姿は「仕事人」と呼ぶにふさわしく、小学生などが見たら「カッコいい！」と思う気がしました。林業に携わる仕事が子どもたちの「なりたい職業」になったらいいなと思います。



メグ

協力隊が発見！

山を守る仕事

木を切ることが将来を変える

どの木を伐採するかによって、今後の山の姿が変わっていく。職人さんたちは、まるで木を切る細かな動きの中にも未来を見ているような気がしました。



二 櫛原神楽練習見学

櫛原神楽団体の

2022.5.14 (1日間)

取材内容

櫛原神楽講の練習風景を見学しました。櫛原神楽の大元となった、日本書紀に基づく物語や、舞い手の役割、和歌に込められた意味なども教えていただきました。

Q. 感想を一言お願いします！

A. 神楽の練習風景の見学し、台本を見せていただきました。日本神話に基づいた神楽講の起源や、演目の内容が読み取れたことでより神事としての理解が深まったように感じます。築上町にある神楽の比較などまとめてみたいと思いました。



メグ

A. 太鼓や笛、手拍子の音に合わせて舞っている姿はすごく神聖なものだと感じました。舞っている際のリズムのとり方について、もっと詳しく学びたいと思いました。



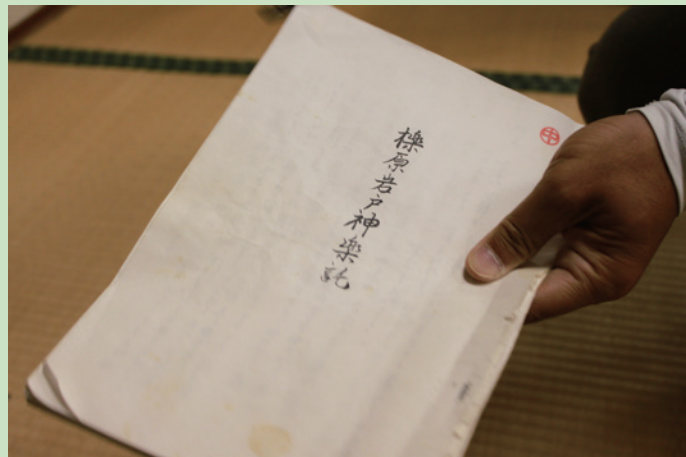
おまたっち

協力隊が発見！

神楽講の魅力

伝統文化の在り方と受け継いでいく人たち

神楽を受け継ぎ、次代へ繋ごうとするメンバーは現在 9 名。皆さん小学生の頃から神楽を習ったそうです。地域に根付いた伝統をどのように残していくか、私たちも強く考えるきっかけとなりました。



二 まこちの里で キャンプクッキング

まこちの里で

2022.5.22 (1日間)

取材内容

国際交流イベント「リアンと楽しむキャンプ飯 in 牧の原キャンプ場」のお手伝いをしました。参加者の子どもたちと一緒に、竹の加工やオーストラリアのキャンプ飯作りをしました。

Q. 感想を一言お願いします！

A. 竹飯ごうによるおこわ、ダンパー、スモアという3つのキャンプ飯レシピを作りました。美味しく、とても手軽なので、子どもも大人もキャンプに興味を持つきっかけとして、定期的にイベント化できたら楽しそうだと思います。



しの

A. 炊き込みご飯が完成した時「本当に竹で作れるんだ」という声に参加者からあって、昔からの知恵（竹を使った食器を作るなど）をもっと大切にしていきたいと感じました。



おまたっち

協力隊が発見！

キャンプが教えること

思考を止めずに、まずは何でもやってみる！

簡単にものが揃う便利な世の中で、あえてここにあるものを工夫して使ってみる。自分でおこした火でご飯を作ってみる。不慣れだからこそ面白さを、子どもたちと一緒に発見していきたいです。



しいだコミュニティクラブの ときめき教室

2022.5.26 (1日間)

取材内容 陽光学園おやまの皆さんと一緒に、ダンスやボッチャといった複数の障がい者スポーツを楽しみました。

Q. 感想を一言お願いします！

A. 障がいの程度、有無に関わらず一緒に楽しめると感じました。皆さんとてもフレンドリーで、全身で「楽しい！」という気持ちを表現していてこちらも嬉しくなりました！



しの

A. 初めてラーメン体操をしたのですが、動きは簡単なのにしっかり行くと「運動した！」と実感するくらい息が上がってしまいました。皆さんが和気あいあいと参加されていたのが印象に残ってます。



おまたっち

協力隊が発見！

スポーツを通して人の垣根をなくす

誰でも一緒にできるから、楽しい！

一緒にスポーツを楽しむことは「障がいを持つ人とどう接すればいいんだろう」という疑問を簡単に消してくれと感じました。ゲームをしていて、すぐに皆さんの輪に入れていただけたのも嬉しかったです！



＼こんなこともしていました／

上城井ふれあい協議会の白川さんと

あじさい・じゃがいも定植



上城井活性化センターのすぐ後ろのあぜ道に紫陽花を、畑にはじゃがいもを3品種植えました。GW が明けて様子を見にいったら大きく成長していてびっくり！

信田淳さんと

ヤーコン定植



春先に掘ったヤーコンから新しい親芋になる芽を採取して、畑に植えていきました。どんな芽が出てくるのか楽しみです！

日々の体験や、日常を発信しています！

スターコーン FM

毎週火曜日の 8 時 40 分から 50 分までの 10 分間、「築上タウンイン フォメーション」にて体験取材の内容や感想についてお話ししています。主に前の週の活動内容についてや、その週に行う体験取材についてお話ししているので、私たち協力隊の最新情報について知っていただけます。そのほか、季節の風景やイベント情報についてもお届けしています。



Instagram・Facebook

SNS を使用した情報発信を行っています。体験取材はもちろん、築上町の季節を感じる風景や、協力隊の日常についても発信しています。築上町の良いところを外の町の人にも知ってもらえるよう、意識しながら日々更新しています。

instagram は
こちらから ▶▶



72
投稿

288
フォロワー

109
フォロー中

築上町地域おこし協力隊

地域団体

福岡県築上郡にある築上町（ちくじょうまち）の地域おこし協力隊です！

築上町の魅力や協力隊の活動など、四季折々の日常風景をお送りします... 続きを読む

www.town.chikujo.fukuoka.jp/

本日は、お忙しい中
報告会にご参加いただき、
ありがとうございました。

今後とも
よろしくお願いいたします！

築上町地域おこし協力隊 小俣元稀 加藤詩乃 斉藤愛